

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
平成 27 年度 第 2 回常務理事会 議事録

開催日時：平成 27 年 7 月 17 日（金） 18:30～

出席者：兼子、諏訪、浅野、藤井、多和田、近藤、臼井、森本、鈴木敦

欠席者：柴、

議長：兼子

議事録：藤井

【連絡事項】

1 日臨技より

藤井庶務部長より連絡事項に関する報告があった。

日臨技より平成 27 年度の助成金について通知があった。昨年との変更点は、市町村等が実施する健康イベントの協力・参画は助成金の対象にならない。

平成 27 年度より 1 研修会につき、定額 2 万円及び参加者 1 人あたり 500 円、最高 60 名まで（最大 5 万円）を最大 20 研修会まで助成を行います。

日臨技から会費 170,000 円、入会金 6,500 円、合計 176,500 円の送金があった。

平成 27 年度定時総会議決権行使書回収委託費 21,900 円の送金があった。

近藤部長より研修会の助成が減らされる事は、部門長に話してあるとの発言があった。

藤井庶務部長より宮島会長が 7 月 3 日の案内では出馬するかもしれないと言う案内が来ていましたが、7 月 14 日の案内では、宮島会長を擁立する事を方針決定した事の報告が来た。

山梨県から宮島会長に立候補要請文が届き、都道府県技師会へ同様な文書提出をお願いするよう提案要請があったとの報告があった。

兼子会長より要請書を提出しても良いかとの問いかけがあり承認された。

兼子会長より自民党の公認が取れなければ出馬しないとの報告があり、ハードルはかなり高いとの報告があった。出馬した暁には、みなさんは、運動員になって欲しいとの兼子会長の意見があり、選挙期間中に電話をしたり、はがきを書いたりします。会員の皆さんには、自民党の公認が取れ出馬が確定したら知らせるとの兼子会長の発言があった。

藤井庶務部長より日臨技からの平成 27 年度 全国「検査と健康展」の実施についての案内の説明があった。

臨床検査についての正しい知識とその普及・啓発を行う事を目的に、毎年 11 月を「検査と健康展・普及・啓発月間」と定め、平成 25 年度より、全国「検査と健康展」を都道府県技師会のご協力により全国展開をしております。

各都道府県技師会で期間内に実施していただきますようにお願いします。

後援許可申請書に必要な平成 27 年度 全国「検査と健康展」企画書、予算書、を 6 月 22 日までに提出して下さいとの報告があった。

臼井部長より現在仮の予算を付けて提出しました。最終予算は、2ヶ月前という事で9月になります。

会場は縦 18m、横 6.5m になります。各部門に分けると少ないスペースになります。現在レイアウトを考えていますが、今後も模索しないといけないとの報告があった。

細菌の後藤先生からの電力量の問い合わせがあり、40 アンペア、4,000 ワット回答があった。40 アンペアはかなり少ないので、エコーの機械のバッテリーとか、自家発電（小音の物）を使うとかを考えていますが、電力はこれ以上増やせないため、電力量を積算して、超えるようであればイベント会社に相談をして行うとの報告があった。また、水回りが全く無く、水関係は出来ない。近くにトイレはあるが不便であるとの報告があった。

協力していただける方で、各部門員以外の実務委員を募る案内を作りましたので、理事にメールで送り可能な方は協力をお願いします。また、ホームページにも実務委員を募る案内を載せてもらうとの報告があった。また全て出揃った所で、学校と保健所を訪問するとの報告があった。

兼子会長より検査と健康展は今回初めての事でどうなるかわかりませんが、とりあえずやってみる事が大事であるとの意見があった。

諏訪副会長より平成 27 年全国「検査と健康展」は広島県で開催されますが、どの様に決まるのかとの質問があった。日臨技から打診があるのではないかと回答があった。

庶務部長より「災害時対応体制の実態調査」への協力をお願いの案内があった。

日臨技では、今後想定される大規模災害等への対応するための体制づくりを進めるために、災害対策検討委員会が設置された。各都道府県技師会における災害への体制を現状把握いたしたく「災害時対応体制の実態調査」への協力をお願いしますとの案内があった。

兼子会長より今後岐臨技として、災害時対応部を作ったほうが良いかの問いかけがあった。臼井組織調査部長より今後組織調査がやらなければならない事かもしれないので、考えますとの発言があった。

会長より今回のアンケートでは、特に無いとの回答をし、今後検討をしていく必要があり、組織調査にお任せをしますとの発言があった。

日本慢性期医療学会から後援名義の使用についてのお願いが来ています。理事の皆さんにメールで問いかけましたが、反対の意見がないため後援しますとの返答をした。

2 岐臨技

兼子会長より報告があった。岐阜県健康福祉部医療整備課長より平成 27 年度公衆衛生

事業功労者の表彰推薦の依頼があり、多和田精度管理部長が推薦され、8月3日に表彰されるとの報告があった。

一般財団法人日本公衆衛生協会より平成27年度公衆衛生事業功労者の表彰についての推薦が来ていました。兼子会長、白井組織調査部長、その他の理事もよくわからなく、今回は見送りとなった。

岐阜県総合医療センターの平沢弘行先生より「血管年齢測定用結果記入票及び説明書様式」の借用についてのお願いがあった。岐阜県総合医療センターでは、毎年度「健康祭」を開催しています。そこで「血管年齢測定用結果記入票及び説明書様式」を使わせてもらいたいとのお願いがあり常務理事会で承認された。

第1回大垣市健康広場打ち合わせ会議の報告書。

開催日が平成27年10月18日 白井理事が生涯教育の登録をする。近藤先生よりJAMTの画面が変わっているのでわかりづらいかも。機械は技師会統一価格の話はしであるとの白井理事の報告があった。

森本広報宣伝部長より報告があった。現在トップページがリニューアルされているが、2画面目、3画面目が旧の状態のままが多く残っています。今後各ページをリニューアルすれば、434,160円かかる見積りができました。これをやるかやらないかは今後決めてもらえば良いとの報告があった。

新旧サーバーの内訳では、旧サーバーは、月5,180円、新サーバーは、月3,000円かかりサーバー切り替えによる差額がマイナス2,180円になります。

新サーバーはバックアップ込の値段です。

ドメイン管理料は新旧サーバー共に6,000円、今回のリニューアルにかかった費用は、月額差額から毎月支払う。

サーバー移動費用が36,000円、初期費用が3,000円、移動費用が30,000円、新サーバー重複分が3,000円となります。

トップページ以外のリニューアル費が402,000円となります。

旧サーバーは、6月30日を持って切れ、今は新サーバーで動いているとの報告があった。

今後トップページ以外のリニューアルが必要であれば予算を申請して行く事となった。

バナー広告は、積水さん、栄研さん、シスメックスさんから申し込みがありました。

シーメンスさんとロシュさんから申し込みがあるかもしれないとの報告があった。各業者さんの行うセミナーなどは、PDFでもらえればトップページに載せ、多くの情報を載せたいとの報告があった。またこれらの研修会は、会長の許可があれば学術カレンダーに載せる事にした。

近藤学術部長よりバナー広告は何社で、期間の問い合わせがあった。

森本広報宣伝部長より現在募集は5社で、期間は1年間との回答があった、また、現在更新の契約案内を作成中で、毎年更新の意志があるかを確認するために案内を送ると

の報告があった。

近藤部長より現在のバナー広告の状況は、載せて、載せてという感じなのか、いらっしやい、いらっしやいという感じなのかの質問があった。

森本理事より、拡大研修会のように広告協賛を頼んで行うのではなく、趣意書を送って載せたいと思う業者さんに申し込んでもらう対応をしているので感触はわからないとの報告があった。また、トップページの画面は、切り替え時期で、新しいトップページを知っているのは森本理事の所に来た業者さんだけですとの報告があり、ウハウハでは無いとの意見があった。

諏訪副会長より今後 5 社から増やす事はあるのかと質問があった。森本理事より技師会として増やしてもよければ増やしますとの回答があった。

藤井庶務部長より、定時総会の議事録を作成しました。常務理事の方にメールで送りますので変更する箇所があれば赤字で修正をお願いしますとの報告があった。

議事録は県への提出用と、控え 2 部の合計 3 部作成する。議長の署名印と会長の署名印を押して件に提出するため、8 月中に県に持っていける様に議事録作成を行う事とした。

理事の古池さんは、登記上大西になっていますので県や法務局に出す場合は大西にしてとの鈴木法人対応部長の意見があった。

3 学術部より

近藤学術部長より平成 27 年度・第 1 回部門長会議について報告があった。

- 1 都道府県技師会専用サイトの概要と会員管理の変更点について説明した。
- 2 新人サポート研修会を 5/24 岐阜医療科学大学で開催し、回収したアンケート結果を報告した。参加人数は 104 名で高評価をいただきました。今後、次年度に向けてさらにより研修会の企画内容にして行きたい。
- 3 「お助け！！検査ガイドブック」なるほど・ザ・検査ミニ知識の小冊子作成について、各部長さんに意見を伺った。岐阜県における「検査と健康展」で配布するリーフレットを作成したらどうかと常務理事会での意見があり確認したところ、作成には時間がかかるとの意見や、必要性の確認を今回の健康展で「お助け！！検査ガイドブック」なるほど・ザ・検査ミニ知識を少し印刷し置いてみて、ニーズが有るか無いかを確認し、判断するとの意見がありました。決して作成するのが嫌なのでは無いとの報告があった。ニーズがあれば岐阜県版として作り、無ければ見合わせる。
- 4 新しい岐臨技ホームページについて報告をした。各部長さんに他県等の情報があれば兼子会長にメール報告をしてアップロードしてもらう手順を説明した。
- 5 来年度の日臨技における助成金申請の変更 2 万円プラス会員 500 円と下書き Excel シートについて説明をした。
- 6 日臨技の中部圏支部幹事学会の報告と、全国学会が静岡県に決定した事を部門長さんに伝えました。

平成 27 年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第 54 回）から一般演題座長候補推薦の依頼が来しました。

臨床化学 1 名、生理 2 名、微生物 1 名、輸血細胞治療 1 名を各部門長さんへメールで送り 26 日までに担当者を決めてもらい、事務局へ送ります。

現在臨床化学の日比先生が決まっています。輸血細胞治療は八木先生か帖佐先生で、八木先生は一般演題を出しているため、時間帯がダブルようであれば帖佐先生にお願いをする。

都道府県新システム注意事項について報告があった。特に気になる所は、日臨技の助成金は、今までは参加名簿と決算書だけでよかったが、今度から予算書も出さないといけないため、2 万円プラス会員 500 円を申請する場合予算書が必要となる。

各都道府県学会の演題の投稿については、開催都道府県の独自のフォーマットで行っているが、今後日臨技のシステムを利用すれば抄録作りに便利になる可能性があるが、どちらでもよいとの発言があった。

まだ使用していないのでメリットがわからないが、岐臨技で使用していれば、日臨技主催の行事を行なう時は、なれていて便利であるとの意見があった。

検査説明相談のできる臨床検査技師育成講習会の開催候補日は 2016 年 7 月 23, 24 日の打診を受けています。会長より来年の事がわからないので第一候補として 2016 年 7 月 23, 24 日、第二候補として 7 月 16, 17 日、第三候補として 5 月 28, 29 日とした。近藤部長より古田伸行先生と森さゆり先生にお願いをしますとの発言があった。

平成 27 年春季拡大研修会の市民公開講座では、会員参加数より市民参加数が上回った。今までは、各地区で特別講演市民公開講座を企画していましたが、来年度からは岐臨技で行ったかどうかとの提案があった。

会長より定款には我々は、公衆衛生を啓発する目的が有るにもかかわらず、パテシエの方にお話をしてもらって良いのかとの発言があり、できれば病気の話、健康の話などをした方が良いのではないかと発言があった。しかし参加人数が減るかもしれない。

浅野副会長より技師会として交渉するのであれば、医師だけではなく、企業にお願いして行なう。たとえばミツカン酢などをお願いし、酢を通して健康の話をしてもらうとの発言があった。また、今まではその地区に縁のある人で企画をしていましたが、岐臨技が行えば地区も少し楽になるとの意見がでた。

諏訪副会長より目先が変わって良いのではないかと意見があり、やってダメであれば変えれば良いとの意見がでた。

藤井理事よりいつから行かうかの質問があった。近藤理事より春季拡大研修会は既に動いていますので、早くても来年の県学会か、来年の春季拡大研修会からになるとの回答があった。

浅野副会長より賛助会員さんに投げかければ情報が集まるかもしれないとの意見があった。会長より理事の皆さんも情報があれば提供をお願いした。諏訪副会長よりストレッチの講習会を開いたら、一般市民の方が多く集まったとの意見がでた。

今後方向性としては、医学的な話だけではなく、健康に関わる企業や団体でも良いので、健康に纏わる話をしてもらおう事とし、岐臨技で行う事とした。

平成 27 年 9 月 5 日に行なわれる臨床血液研修会の案内で、内田一豊先生をお呼びしての研修会です。豊橋市民病院の検査技師の方で講師料は 1 万円、交通費は、豊橋からのガソリン代で計算し承認を得た。

平成 27 年度臨床生理部門研修会に岸和田徳州会病院 吉田政富美先生に「下肢血管（動脈・静脈）エコーをマスターしよう・・・透析患者のエコーもお困りでは？」の講演をお願いした。講師料は検査技師なので 1 万円、交通費は 2 万円で承認を得た。前泊希望で会長より許可がでた。

4 法人対応部

鈴木法人対応部長より報告があった。6 月 15 日の総会の日には公益目的の支出をホームページから提出したとの報告があった。本日確認をしたがまだ審議に入っていない状態で順番待ちとの報告があった。審議に入りおかしい所があれば連絡が入り対応をします。

5 その他

兼子会長よりコピー機が古くなり、壊れたら部品も無いため、新しいコピー機を購入するかコピー機本体をリースにするかのどちらかである。値段はほとんど変わらなく早く変えたほうが安くなるためワキタさんでリースする事となった。


医療勤務環境改善支援センターにオブザーバーとして参加してきました。総合医療センターの 30 歳ぐらいの 2 人の女性技師をお願いしていましたが、他の所は理事の方が行っており、何の役職も無いのでやってられないとの意見があったため、できれば女性の理事方をお願いしたいとの会長の意見があった。

現在理事で女性の方は、柴さん、大西さん、鈴木さんですが、皆さん県庁から遠いため、近い方をお願いした方が良いとの意見がでた。浅野副会長より資料をもらい、打診をしてみますとの発言があった。

会長より法人対応部を渉外部に変えて、その中の委員会として環境改善委員会を付けたらとの発言があった。

大腸癌部会も参加の依頼があり、現在一柳先生に行ってもらっていますが、引き続きお願いをしたが。しかし、今後ずっと行ってもらうわけには行かないので、渉外部の下に付けて理事会で報告をしてもらいたいとの会長の意見があった。浅野副会長よりどれぐらいの頻度であるのかとの質問があった。会長より 1 年に 1 回ぐらいとの回

答があった。会長より検討をお願いしますとの発言があった。

議長 兼子 徹 

議事録署名人 諏訪 浩 

議事録署名人 浅野 敦 